

富士の民話 あれこれ

大淵の八王子一丁目に井戸神様と呼ばれる大きな石の碑と十九個の小さな石の碑があります。

これは、水がなくて困った大淵地区の昔の人が井戸を掘り、水が出た十九の井戸の石を、水に感謝する意味で祭ったものです。

今回は、井戸神様のお話です。

大淵八王子の

井戸神様



市立大淵幼稚園では、毎年プール開きの日に

井戸神様にお参りします



昔、大淵は水がなくて水なし村と呼ばれていました。雨が降ると、水をタンクや水がめにためて飲み水にしたり、洗濯やお風呂に使ったりしました。

それでも水が足りないので、小さい子供たちも遠くの沢まで水くみに行きました。特に冬になると雨の降らない日が何日も続き、野菜はしおれ、食べ物も少なくなってしまうほどでした。

そこで、みんなで深い井戸を掘る

ことにしましたが、苦勞して掘っても水はほんの少ししか出ませんでした。

しかし、あきらめずに何年もかけてあちこちに井戸を掘り、水の出る井戸を十九もつくりました。村の人たちは「おいしい水をありがとう」と大喜びをしました。そして、井戸を掘ったときに出てきたたくさん石の中から、形のよい石を一個ずつ選び、十九個の石を水の神様としてみんなで祭りました。

私が聞いた話では、男の人たちが井戸をあちこちに掘ったけれど、水は全然出なくて、井戸掘りに反対する女の人たちと「次で水が出てこなかったらもうあきらめる」という約束をして掘ったら、水が出たということです。

子供のころは年に一回、三月二十日に井戸祭りが行われていました。水への感謝の気持ちを含めて、井戸の底にたまった砂の掃除をしたんです。その日はお赤飯やお菓子が食べられて、とっても楽しみでした。ふだんは井戸の近くで遊ばないように言われていました。井戸は大切で清潔にしておかなくてはならない場所だったからでしょう。

水道が引かれてから、井戸祭りは廃れてしまいました。時代の流れなのかもしれませんが、寂しいですね。

井戸神様の隣に住む

稲垣愛子さん

(大淵)



こちら編集部

言うとなんて驚かれる(またはばかにされる?)のだが、私の家にはクーラーがない。それどころか扇風機もめったに使わない。でも、決して家族で我慢大会をしているわけではありません。古い家だからか、すごく風通りがいいんです。電気代はいらないうし、なん

となく風流な感じもすると思っていたのに、去年から問題発生。どうも体がなれていないせいか、涼しくないと評判(?)の市役所で見事クーラー病になってしまったのです。現在、訓練のため自分の部屋にクーラーをつけようかと半分やけで考えています。(笑)

人口 235,402人
男 117,332人 女 118,070人
世帯 75,894世帯 (7月1日現在)
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
静岡県富士市永田町1-100 ☎51-0123

